



NEWS LETTER Vol.2

特定非営利活動法人
子どもの村福岡を設立する会

発行日 2007年12月14日

発行責任者 満留 昭久

〒810-0042 福岡市中央区赤坂2-3-1 2F

Tel: 092-737-8665 Fax:092-737-8666

E-mail fukuoka@cv-f.org URL <http://cv-f.org>

MOKUJI

- 初めてのフォーラムに300名・・・・・・・・1P
- 市民公開フォーラム講演要旨・・・・・・・・2P
- 海外研修レポート・・・・・・・・3P
- 広がる支援の輪・・・・・・・・4P

子どもの村初めてのフォーラムに300名

「すべての子どもに「家庭」を」に共感ひろがる

日本の社会的養護のリーダー、柏女 靈峰氏、村瀬 嘉代子氏を迎え

11月4日、子どもの村福岡主催の市民公開フォーラムが開かれました。

柏女靈峰氏は、厚生労働省の「今後目指すべき児童の社会的養護体制に関する構想検討会」の委員長であり、村瀬嘉代子氏は、全国児童養護施設協議会の「児童養護における養育のあり方に関する特別委員会」委員長。かたや制度検討の責任者、かたや「制度改革とともに新たな“子ども養育論”の確立が不可欠」として、一貫して子どもの立場から論陣を張っていることで知られています。

いわば児童養護の両雄の講演を一度に聴けるとあって、会場の春日市クロバーホールは広く九州各地からの参加者も多く、会場は満席となりました。

村瀬氏の講演では、「子どもの人格を尊重し、寄り添うということ」がどのようなことか、多くの実践に裏付けられた言葉が参加者に深い感銘を与え、柏女氏の講演は、ようやく動き出した制度改革への期待感を広げて、「子どもの村」建設に向けて本格化しようとしている子どもの村福岡に、この上ない力強い応援となりました。



フロアからの発言も活発だったトークセッション

熱心に耳を傾ける参加者→



市民公開フォーラム講演要旨

I. 「子どもが求めているもの — 子どもの心の居場所 — 」 村瀬 嘉代子氏

児童養護の現場に飛び込んで、子どもの心に寄り添いながら提言を続けておられる村瀬氏は、心に傷を負った子どもたちを支えるために最も大切なことは、「安心して居られる心の居場所」を提供することと語られました。これまで、さまざまな人から存在を否定され続けてきた子どもたちにとっては、生まれたことを祝福し「あなたが存在することには意義があるのだ」と理屈抜きに受け止める、そういった取り組みが何気ない日々の営みの中で積み重ねられれば、そこに込められた安心感が、心を癒すことに繋がっていくでしょう。

「心の居場所」とは、自分の場所として過ごせる「空間」や「時間」という居場所と、人間関係という「網の目」の中での居場所もある。苛酷な状況の中で未来を描くことすらできないでいる子どもたちも、日常の中で存在を肯定され続けることで「自分の居場所」を取り戻すことができる。大人も共に育っていくという視点が大切だと語られました。

II. 「これからの児童養護」 柏女 霊峰氏

柏女氏は、日本の社会的養護の改革の先頭に立ってこられた立場から、これまで、社会的養護は主に行政が担い、対応してきた。「社会的養護」とは、経済的な事情や虐待などさまざまな理由で親と暮らせない子どもたちを社会で育てるシステムを指す。現在、我が国では子育て支援や虐待防止など多様な子育て支援策を講じてもお養護を必要とする子どもたちは増え続けている。

現在、養護を必要とする子どもたちは約4万人。このうち約9割が児童養護施設や乳児院などで生活している。約9%が里親に預けられている（厚生労働省）。我国の子育て支援の基盤である次世代育成支援対策推進法は、2010年度から後期行動計画を立てることになっているが、その中に社会的養護の視点を盛り込むべき。計画には社会的養護の整備計画を盛り込み、その「量」「質」とともに充実していかなければならないと語られました。

特に今後の社会的養護は、家庭的な環境の下で子どもたちを育てていくことが重要で、里親家庭への支援や、里親ファミリーホームなどの小規模住居での育て方を制度化していく必要があると述べられました。また、この課題に市民一人ひとりがどう関わっていくのか、『共助』の視点を育んでいくことが大事で、社会全体で議論を深めていかなければならないと結ばれました。

◆◆◆ 国の動向！！「構想検討会」以後の動き

社会的養護が必要な子どもの増加、その中で虐待など子どもが抱える課題の多様化などを背景とし、社会的養護の今後の在り方と、具体的対応策を検討した上記の構想検討会の中間とりまとめから更に進めて、今年8月厚生労働省においては社会保障審議会児童部会に（社会的養護専門部会）が設置されました。11月29日に公開されたその報告書には、子どもを家庭的な環境で養育することの重要性が強調され、里親の普及啓発、里親の手当て引上げ、研修などの明確化、里親支援機関の創設などが含まれていました。さらに、小規模グループ形態で、5~6人の子どもを養育し、家事などの援助を行う人員や地域での連帯体制を確保した新たな養育制度を創設するという内容も盛り込まれ、子どもの村福岡の実現を後押しする内容となっています。

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/11/s1129-7.html>

海外研修 in ベトナム……

村は全土に12ヶ所 今後の開村に向けても準備進む

10月27日～30日、子どもの村福岡の関係者、「育親」研修参加者、地元TV取材クルー2名を含めた総勢16名でベトナムの子どもの村を訪問しました。ベトナムのSOS子どもの村は、アジア地域の中で国際本部として最も力を入れている子どもの村です。ホーチミン空港到着後、さっそくバスで市内へ移動。広い道路いっぱいには走るオートバイの群れは二人乗り、三人乗りも当たり前で、まずこの光景に圧倒されました。翌日から二日間にわたり Ben Tre (ベンチュ)、Go Vap (ゴバップ) 2ヶ所を視察しました。

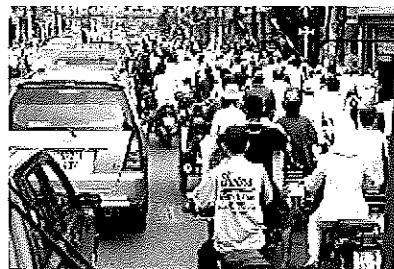
	Go Vap (ゴバップ)	Ben Tre (ベンチュ)	
訪問先	地域	ホーチミン市郊外	ホーチミン市より南へ80Km
	設立	1969年 設立当初の村	1999年
	家族	村長を中心に20家族	村長を中心に12家族
	併設施	HGS (ヘルマン・グマイト・スクール) 小中高校1100名 幼稚園165名 青年の家(14~18歳男子49名) メディカルセンター	HGS (ヘルマン・グマイト・スクール) 小中高校1100名 幼稚園190名 青年の家(14~18歳男子48名)

■一人のマザーが、平均9人～10人の子どもたちを育てていました。村の規模により、4～6人のアシスタントマザーがいて、生活や教育面でのサポート。14歳以上の男子は、併設されている「青年の家」で集団生活し、週末は自宅に戻る。幼稚園、小・中・高等学校、メディカルセンターともに地域に開放されており、地域に根付いた村であることがよく伝わりました。

村の子どもたちは専門学校や大学の進学率も高いとのこと。村長は、マザーの兄弟のような、時には友人のような、子どもたちにとっては父親のような存在として村をまとめていました。アジア地域の副代表のカウル氏は、「村で育った子どもたちが、自分の家庭を築けることがいちばんの成功だと思う」と語っていました。



青年の家の子どもたち



バイクの多さは世界一？



各家庭に2時間ホームステイ



花束での歓迎にびっくり！



マザーはじめ、現地スタッフと記念撮影。左端のアオザイ姿の方が HGS の校長先生、横は幼稚園の園長先生

広がる支援の輪...

あなたも子どもたちのサポーターに!

「子どもの村福岡」建設支援 ♪♪♪♪♪
チャリティコンサート サポーター募集中

2008年3月25日、日本音楽財団の特別協力によるチャリティコンサートが開かれます。成功に向けてチケット普及サポーターを募っています。5枚のチケットをお預かりいただき、「子どもの村」の紹介と、コンサートの参加呼びかけをしてくださる方です。

個人、団体、お店などでご協力いただけましたらぜひご連絡ください。

<お問合せ>

- ◆ TEL: 092-737-8656
- FAX: 092-737-8665
- ◆ E-mail: fukuoka@cv-f.org

福岡一南ベンチャークラブ様より
寄付金をいただきました



目録を受ける大谷専務理事



さまざまな場で「子どもの村」を紹介

卓話、リーフ配布、ポスター掲示、募金箱設置などご協力ありがとうございます。

10月	3	異業種交流会
	10	城南ロータリークラブ例会(卓話)
	10	福岡ロータリークラブ例会(卓話)
	19	福岡北ロータリークラブ例会(卓話)
	22	福岡県公衆浴場組合
	24	福岡商工会議所
11月	26	社会人ラグビー会場(博多の森球技場)
	9	東南ロータリークラブ例会(卓話)
	12	中央ロータリークラブ例会(卓話)
	15	八幡南ロータリークラブ例会(卓話)
		福岡市公共施設 26ヶ所
	15	福岡市内公民館 144ヶ所 福岡市小・中・高校 233ヶ所
12月	19	太宰府病院講演
	1	小児保健研究会
	4	日刊スポーツ(チャリティー)
	15	教育と医学の会シンポジウム
	21	ソフバツ和田毅チャリティゴルフコンパ
	21	ソフバツ和田毅チャリティクリスマスパーティー
	22	社会人ラグビー会場(博多の森球技場)

インフォメーション

「子どもの村福岡」開催

チャリティコンサートに先駆けて、「一目でわかる子どもの村」をテーマに、パネル展示とビデオ上映を行います。みなさまのご来場お待ちしております。

日時: 2008年3月17日(月)~19日(水)
毎日 10:00 ~ 17:00

会場: アクロス福岡 1F コミュニケーションエリア
<展示パネル>

- ・子どもの村がめざすもの
- ・育親研修の紹介
- ・海外視察写真(オーストラリア・ヴェトナム・韓国)
- ・社会的養護に関するデータ

